

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月 22日

事業所名 パル・キッズ・クラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		子どもの人数・状況に応じて、パーティションで仕切りをしたり、1F・2Fに分かれて取り組んでいます。	子どもの状況に合わせて今後も対応してき、個室スペースなども設置していきます。
	2	職員の配置数は適切である	4		子どもの人数に応じて配置を行っています。	曜日によって、送迎時などで職員が少なくなってしまう状況もある為、送迎の工夫をしていき職員の確保をしていきたいと思ひます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	各部屋に絵カードや言葉カード等の提示をし、分かりやすいようにしています。	今後も継続し、様々な絵カードや言葉カード等の提示をし、理解出来るようにしていきます。現在はバリアフリーが必要な利用者がいない為、必要な場合は今後検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		会議や毎日のミーティングで目標・反省の話し合いを行っています。又、業務日誌にも毎日の目標・反省を記入しています。	今後も継続していき、職員で共有し、業務改善に繋げていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1	事業所の評価を行い、職員全員で周知しています。	評価表の結果を真摯に受け止め、職員で話し合い、日々改善が出来るようにしていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		ホームページに記載しています。	自己評価の結果や、日々の活動・行事・イベントなどの公表をしていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4		年に一度、外部評価を行っています。	今後も継続して行っていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		様々な研修・オンライン研修・事業者内研修をしています。	今後も様々な研修に参加し、職員のスキルアップに繋げていきます。また職員で研修内容の共有をしていきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		アセスメントを行い、ニーズや課題を職員で分析し、計画書を作成しています。	今後も継続して行っていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	標準化し、独自に作成しています。	今後も継続して行っていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		各活動に職員を割り当て、様々な案を決め、活動に取り組んでいます。	今後も継続して行っていきます。
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		曜日によって固定化されている活動もあるが、それ以外の活動は月や曜日によって変えています。	今後も様々な活動を考え、月や曜日で固定化しないように工夫し、利用者全員に様々な活動が出来るようにしていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		決まった活動以外にも、様々な活動や行事をたくさん取り入れています。	今後も様々な活動や行事を取り入れていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		個別活動や集団活動を計画し、実施しています。	今後も継続して行っていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		毎日の予定を作成し、ミーティングで確認をしています。	毎日予定を作成し、ミーティングで業務の確認を今後も行っていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		その日の反省や気付いた点などは、業務日誌に記入したり、ミーティングで話し合いを行っています。	今後も欠かさず、反省点などの振り返りをミーティングで行っていきたく思ひます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		毎日、支援経過を記録し改善に繋げています。	毎日の記録を徹底し、日々の支援経過から、職員で話し合い、支援の検証・改善に今後も随時行っていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		職員会議で個人のケース会議を行い、半年に一回はモニタリングを行い、計画書の見直しを行っています。	今後も半年に一回は、モニタリングを行い、計画書の見直しを行っていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	1	基本活動を組み合わせ合わせて行っていきます。	今後も継続して行っていきます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		児童発達責任管理者が参画しています。	今後も継続して行っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	1	年間行事や下校時間を書面で頂いている所もあります。送迎時に子どもの様子なども確認しています。必要な事があれば、その都度情報共有を行っています。	今後も継続して行っています。又、これまで以上に学校との関係を深めていけるように努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4		保護者を通じて連絡体制を図っています。	今後必要時は、主治医との連携も図っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	必要時は連携を図り、情報共有を行っています。	今後も必要時には、情報共有や相互理解を図っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3	現在そのような利用者はいません。	今後そのような利用者がいた場合には、情報提供を行っていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	必要機関と連携を行っています。	今後も研修等に参加し、情報交換に努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4	現在は実施していません。	今後は、様々な施設との交流する機会を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4	現在は参加していません。	今後、機会があれば参加をしていきたいと思えます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	1	連絡ノートや送迎時や電話等で、子どもの状況や様子をお伝えし、コミュニケーションを図っています。	今後も保護者とのコミュニケーションを図り、子どもの様子・状況や課題について共通理解を持って支援していきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		4	現在は実施していません。	今後の課題として検討させていただきます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時や送迎時の際に説明を行っています。	今後も契約時や送迎時の際に細かく説明をしていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		相談があった際には、適切に対応しています。	今後も保護者からの相談等には、適切に対応し、助言や支援を行っていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	年に一回、懇談や保護者会を開催したり、保護者同士が関わられるお話しも開催しています。	今後も保護者同士が関わられる交流の場を設けたり、懇談も随時行えるよう検討をしていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		相談・苦情がある際は、速やかに対応すると共に、様々な機関と連絡をとっています。	今後も様々な事に対して、迅速かつ速やかに対応が出来るよう行っていきます。また、色々な必要機関との連携をとっていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		HPでの発信や毎月の新聞で行事予定を発行しています。	今後もHPでの発信や新聞の発行・配布を行っていきます。
	35	個人情報に十分注意している	4		秘密厳守を徹底しています。	今後も継続し、秘密厳守に徹底していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		連絡ノートや送迎時や電話等で、子どもの様子をお伝えしたり、必要な情報をお伝えしています。	今後も継続して連絡ノートや送迎時や電話等で保護者の方とたくさんコミュニケーションを図っていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4		年に1~2回程、地域の方も招待してイベントを行っています。	今後も地域の方との交流が広がるイベントを継続して行っていきたいと思えます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	契約時にマニュアルについてご説明をしています。	様々なマニュアルについて職員で周知し、特に感染症に対しては、今後も様々な状況に対応出来るようにしていきます。保護者の方にもより一層マニュアルについて細かく説明をしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	月に一度、想定を変えて行っています。	今後も月に一度、様々な想定を変え、実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	虐待に関する研修に参加したり、事業者内で研修も行っています。	今後も虐待に関する研修などを行い、虐待防止に努めていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	現在そのような利用者はいません。	今後そのような利用者がいた場合には、保護者と話し合いの場を設けさせて頂き、対応していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	職員全員が共有出来るようにアレルギー一覧表にしています。アレルギーの子には、徹底し除去をしています。	今後もアレルギーの子には、徹底し除去をしていきます。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	各職員にヒヤリハット表を配布し、怪我や怪我に繋がりがりそうだった行動を記入している。又、会議等で反省し、話し合いを行っている。	今後もヒヤリハット表に記入し、職員全員で共有していきます。	